



発行/瑞穂町 編集/秘書広報課 毎月1回1日発行
〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
☎ 042 (557) 0501 (代表)
ホームページ <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

みずほ

人口と世帯

人口 33,669人 (17人増)
男 17,224人 (増減なし)
女 16,445人 (17人増)
12月1日現在 世帯 13,700 (10世帯増)
()は前月比 外国人登録数 588人

No.588

あけまして おめでとうございます



2011年スタート

11月27日に行われたクロスカントリー大会では、小・中学生が元気いっぱいスタートし駆け抜けました(関連記事14ページ)。

本年も元気にスタートし、うさぎ年にふさわしい飛躍の年としたいものですね。

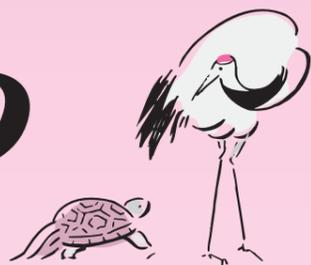
おもな内容

年頭のあいさつ		2~3
第4次瑞穂町長期総合計画	みらいにずっとほこれるまち	4
みずほ伝言板	確定申告の準備を 民生委員・児童委員紹介 駅伝競走大会 囃子員・臨時職員登録者募集 ほか	5~10
福祉	下水道使用料助成事業 「働きたい」 「学びたい」を応援します ほか	11~13
インフォメーション	年金の請求をお忘れではありませんか エコ パークフリーマーケット出店者募集 ほか	16~20
教育委員会からのお知らせ	郷土歴史講演会 初心者パソコン講習会 小・中学校入学予定者保護者会 ほか	21~23



平成23年
う 卯 年

年頭のあいさつ



未来にずっと誇れるまち



あけましておめでとうございませう。

皆様には健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

この一年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

「みらいにずっとほこれるまち」を目指して

新春にふさわしく、未来に希望あふれる話題を皆様にお届けします。多くの皆様からのご意見等を取り入れ策定してまいります「第4次瑞穂町長期総合計画」

は、12月の町議会に上程し可決されました。この計画は、平成23年度から10年間のまちづくりの方向性を示す町の最上位計画です。目指す将来都市像は、「みらいにずっとほこれるまち」とし、瑞穂町に住む誰もが、町に愛着と誇りを感じながら、活力に満ちた生活を送っていただけることを目標としました。

この第4次長期総合計画の初年度にあたり、新たな長期総合計画と、現在編成中の新年度予算案に基づき、取り組みをご紹介します。

人が元氣、まちが元氣

国全体が元氣を失っている状況にありますが、このようなときこそ、皆様に一番身近な基礎自治体の役割はさらに重要となります。健康で生き生きと生活できることは、全ての町民の願いです。平成23年度は各種ワクチン接種の助成や健診(検診)機会を充実させ、病気の予防に努めます。

皆様の生活を守り、併せて景気刺激策として、昨年も好評であった「プレミアム付き商品券」を3月に発売しますのでご期待ください。

次に、企業誘致を促進する制度を創設し、町内に多様な雇用の場の創出と地域経済の活性化に努めます。

未来へつながるまちづくり

平成23年度は、地球温暖化対策と環境学習を進めるため、三小の校庭を芝生化します。芝生の管理については、学校関係者のほか地域の皆様にご協力いただき、協働のまちづくりを推進します。緑鮮やかな芝生で、未来を担う子どもたちが生き生きと活動できるよう今後も順次芝生化に取り組みまいります。

長岡地区では、待望のコミュニティセンターを平成23年中にオープンします。地域の方々の多くのご意見を取り入れ、施設内に図書室、多目的ホール、トレーニングルームを設置しますので、地域コミュニティの場として活用いただくとともに、子どもから大人までどなたでも利用できる施設となります。また、隣接する公園や道路なども併せて整備を行いますのでご期待ください。

区画整理事業では、着々と事業が進展していますが、箱根ヶ崎駅西地区では駅西口から新青梅街道

瑞穂町長

石塚幸右衛門

までの開通を目指し、道路築造を開始します。さらに、東京都が実施する東口広場と広場から延びる都道の整備も着手されます。早期完成を引き続き要請し、町の顔となります駅周辺が、ますます快適な空間へと整備されます。

時代の変化に対応する都市基盤を整備するとともに、町の財産である豊かな自然を守りながら、皆様に安らぎと潤いを提供してまいります。

将来に向かって大きな希望を見出す良い年とするため、町民の皆様と協働しながら、自立したまちづくりを進めていきます。そのために、健全な行財政運営を堅持し、職員一丸となり町民の皆様の信頼に応えるため、各種事業に鋭意取り組みまいります。

町民の皆様と議会のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。

元氣なまちづくりを

町民の皆様、あけましておめでとうございませう。輝かしい新春を健やかに迎えのことに、心から喜び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、気象庁始まって以来の猛暑が続き、今なお野菜の高騰が続いており、地球温暖化を改めて感じさせる年でありました。

国内情勢に目を向けてみますと、成長軌道に乗るかと思われた経済も低迷を続け、急激な円高が続き製造業の海外移転が増加しています。政治や社会も不透明な情勢で、政治への信頼はまだまだ回復の兆しすらありません。新卒者

元氣なまちに

町の就職は過去最低の状況で、これでは若者が夢を無くし、将来への不安から少子化がさらに進み、社会の活力が失われてしまいます。

町の財政運営も堅実に行われてきましたが、平成22年度、地方交付税は算定方式の改定があり、町は交付団体となりました。またJR東日本から、八高線の複線化および車両基地整備計画の当面凍結の申し出により、短期的には高額の特別土地保有税が入るものの、町の最大の願いである八高線の増強は進まず、長期的にまちづくりに影響をあたえることとなります。

一方、町の産業を支えてきたのは、技術に裏付けられた中小工場のがんばりでした。しかし最近、移転や廃業が目立ってきました。地域の資源を活用し、農商工の元氣と可能性を構築して元氣な瑞穂町を誇りたいものです。

自立と協働

平成23年度から始まる第4次長期総合計画基本構想と基本計

瑞穂町議会議長

上野 勝

画が昨年12月の議会でも可決され、この春から実施されます。計画の基本理念は「自立と協働」です。これは今後町民や事業所、団体の皆さんが自立し、町と共に対等な関係で自らの役割と責任を分担するものです。情報を共有し、すべての町民が「自分のできることは自分で」という意識で、まちづくりに参画できることを目標にしています。

議会でも全議員による特別委員会が開催され、熱心な審議をしました。10年後に、皆様に満足できる計画が実施されたと評価されるよう、議会も具体化に向けて監視してまいります。

議会に新風を

議会は昨年、多摩地区では2番目となる議会報告会(出前議会)を春と秋に開催しました。参加者が少数であったなど反省点も多々ありますが、町民の皆様と膝を交えて議論できたことは、多くの評価をいただき勇気付けられました。今年も実施しますので、ぜひご参加をお願いします。また、今年は一地方選挙に当たっており、町議会議員も改選されます。定数は2名減少しますが、老若男女を問わず崇高な志があればどなたでも議

員となれます。議会に新風を送る、熱い選挙を待望しております。

新時代に対応を

瑞穂町は昨年70周年の節目をお祝いしました。表彰された名誉町民の方々や町に貢献されてきた多くの皆様に、改めて感謝とお祝いを申し上げます。今後も活躍をお願いいたします。

多くの難題が待ち受け、情勢が目まぐるしく変化する時代、行政、議会、町民が一体となり、新時代に対応する意識改革を進めていかねばなりません。

議会は皆様の負託に応えるため、議員自らが研鑽を高め、良識と情熱をもって最大の努力を注いでまいりますので、町民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。